

# 総合計画は全ての施策や事業の道しるべ

## 町長 まちづくりの基本目標の実現に向け進めて行く

**榊**

第6次俱知安町総合計画の策定が始まっている。総合計画は、町が行う全ての施策や事業の根拠となる最上位の計画。

①「国際観光リゾート地をつくる取り組みの推進」の施策の観光交流拠点づくりとして、観光中核施設の整備を進めることとなっているが、中止となった。今後どうするのか。

②「国際都市への基盤づくり」の施策として、前期基本計画では、国際会議、国際大会の誘致を掲げていたが、後期基本計画の実施計画から外され



榊 政信 議員

た。その中で、G20の誘致活動が進められてきた総合計画との整合性はあるのか。

この課題解決の一助とするためにも、G20誘致の判断をした。

**町長**

まちづくりの基本目標として策定する総合計画に沿った中で全ての施策が展開されるのが望ましい。町のトップとして、そのときに最善と思われる施策の実行を判断することも必要だ。

①中核施設に求めた機能は、地域の課題解決に必要なものと考えている。第6次総合計画の策定にもあわせ、機能や方向性も含めて検討していく。

②観光客が冬と夏に集中しており、季節による変動が受け入れ体制やさまざまな面に影響を与えるため、通年型観光への取り組み強化が求められている。通年型観光が我が町の懸案事項であり、



**榊**

G20誘致は、政策的な動きだけれど、総合計画の実施計画からは外れている。計画変更をして総合計画に位置付けるべき。

役場庁舎建設も総合計画にはない。これも位置付けるべきではないか。

**町長**

国際会議は、通年型の観光を目指すところの中に包括されている。実施計画は、毎年ローリングしている。施策レベルに包括されている。基本計画の見直しは考えていない。

実施計画には、新たに発生したもの、例えば少子高齢化に対する取り組みなど新たな項目として、評価指標に入っている。庁舎についても項目立てして評価なり、個別指標をつくらせているところだ。

**まちづくりルールの条例化が必要**

**榊**

参加と協働の原則に基づき自治の仕組みづくりは、総合計画のまちづくり推進のための仕組み。総合政策課でまとめたルールは、申し合わせ事項

程度の扱いではないか。まちづくり条例として、施策の進め方と情報共有と住民参加のルールを条例化しなければ実行できないのではないかと。

**町長**

施策事業の進め方と情報共有と住民参加のルールは、運用後1年余りが経過した。職員間の認識が深まりつつある。議会の各委員会においても、情報共有が進み、住民参加の機会の確保につながりつつあると認識している。

**除雪対策は万全でしたか**

**榊**

昨年12月の除雪体制は万全かとの質問に、町長からは適切な対応を行うとの答弁だった。結果はどう

であったか。除雪ヘルパーの人手不足、工区分けにして複数業者で行ってはどうか。5号線の交差点の雪山や国の道路踏雪回数が少なく、不十分であった。駅前通りの空き地や入口のない店舗前の歩道除雪が無く大変であった。

**町長**

除雪ヘルパー、降雪が多く回り切れなかった状況もある。工区分けなど協議しながら回りきれない対応をしていきたい。交差点の雪山、全てが上手くいくわけではないが、道と協議しながら対応したい。駅前通りの歩道の確保もしつかりと対策したい。

一般質問 榊 政信